

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ももたろうの郷 さわやか苑
日付	平成16年4月27日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	在宅介護支援センターでの相談援助業務 経験11年、家族介護 経験3年 ・病院での痴呆性高齢者の看護・介護業務 経験36年
自主評価結果を見る（事業者の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の設定した評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

概評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づいたケアを提供する為に、管理者、職員ともに、積極的に取り組む姿勢が見られる。 ・勤務している職員が生き生きとしており、職員の意見等を集約するための管理者の細かい配慮が反映されていると感じた。 ・入居者の対応に、細かい配慮があり、入居時、生活の中での混乱やトラブル等、声掛け、コミュニケーションの取り方に努力されている様子がうかがえた。
特に改善の余地があると思われる点
職員が、入居者個々の生活パターンを把握していることは非常に評価できる。ただそれが入居者の有する能力を低下させるような支援が見受けられる場面もあった。今一度、事業所の理念に立ち返り、入居者の有する能力の低下を防ぐとともに、自立した日常生活を営むことができるよう、支援のあり方について、検討が必要と思われる。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	入居者の過ごしてきた暮らしを尊重し、その方にとって居心地の良い場所作りに取り組みされており、その人らしい自立した生活が継続できるように支援を目指している。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士の人間関係に、十分気をつけ配慮されていた。 ・席の場所等にも気を配り、入居者が居心地の良いところに座れるように配慮していた。 ・時に、職員間同士の声の大きさが、気になることがあり、配慮が必要と思われた。 		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	管理者を筆頭に、入居者の有する能力の維持及び向上のため、家族訪問時には積極的に、在宅生活を送っていたときの情報収集を行っており、それらをもとに、より効果的な支援を行っていくとする姿勢が感じられた。また、この取り組みをグループホーム全体に浸透させるため、職員に定期的に声かけを行うなど努力している。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	事業所としては、職員研修の必要性を認識し、全職員が研修を受講できる環境を整備し、外部研修も積極的に活用していくと考えており、サービスの質の向上に対して意欲的である。 また、現在は、緊急時の対応が職員まちまちであり、入居者の生活の安全のためにもマニュアル化を図るなど、早急な対策が必要と考える。		